

**WANTED**

New Music Records, Tapes and Infos for review on **Marquee**.

**Marquee** is open to anyone loves New Music, ...progressive,  
avant-garde, psychedelic, electronic, ethnic, minimal, microtonal, etc.

Send bio's and any other information pertinent to your music to:

**MARQUEE, 3-16-5-105 Minaminagasaki, Toshima-ku, Tokyo 171 JAPAN**

## ポーランドの異端児、ルポルタージュ (Reportaż) by Henryk Palczewski 訳: 賀川雅彦

ルポルタージュのカセット等に関する問合せ先  
▶ Henryk Palczewski  
ul. Ludowa 24/5 64-920 Pila, POLAND

ルポルタージュ (Reportaż) はポーランドでは数少ない独自の音楽スタイルを持ったグループである。

1980年5月、Poznań にあるアーティスティック・グラマー・スクールのオーケストラ部員であった Andrzej Karpinski と Piotr Lakomy はパンク・ロック・バンド、STEN を結成した。翌年6月、グループ名を SOC と改名。Karpinski はリード・ギターを、Lakomy はベースをそれぞれ担当した。当時、彼らのバンドは地元でそれなりの人気と名声を持った存在であった。しかし、改名の2ヶ月後、Karpinski はパンクという音楽形態に限界を感じて SOC を去った。グループをやめて一人になった Karpinski は、ある時、西側で製作された進歩的アヴァンギャルド・ミュージックのレコードを聞く機会を得た。それはロックをベースにしているものの、彼にとっては決して既成の枠に捕われることのない新しい形態の音楽との初めての出会いであった。この体験は以後の彼の音楽に大きな影響を与えた。

Karpinski は、当時まだ SOC でプレイしていた Lakomy に2人で演奏活動を行うことを提案した。その後、事態は多少変化し、ソビエト人の Marzena Kaczmarek も参加してルポルタージュが誕生した。ルポルタージュはドラム (Karpinski)、ベース・ギター (Lakomy)、トイ・キーボード (Kaczmarek) というトリオ編成であった。彼らは82年11月の結成当初から極めて独自のサウンドを有しており、ダイナミックなリズム・セクションとデリケートなキーボード・ラインに、メンバー全員のボーカルが絡むという音作りは正にオリジナリティ溢れるものであった。82年12月

には初めてのコンサートを開いた。そして現在も活動を続けているが、83年3月にメンバー・チェンジがあり、Kaczmarek に代わって Jacek Hałas がグループに参加した。彼はアコースティック・ピアノを中心としたキーボードとトランペットを演奏する。

ルポルタージュは今までに7回のライヴを行っている。83年6月4日に Turuń の Odnowa クラブで行われたコンサートの模様は「Stained Glass」というタイトルでカセット・リリースされた。83年12月にはワルシャワの Remont 7 ラブで「Stained Glass 2」という作品を演奏している。この作品は従来のものと比較してより実験的なものであり、プログレッシヴ・ロック、プログレッシヴ・ジャズ・ロック、ミニマル・ミュージックの各要素を含んでいる。なお、彼らのベスト・ライヴと言われている Poznań の Nurt クラブでのコンサート (Stay-At-Home と題され83年11月に行われた) のライヴ・カセットも本年中にリリースされる予定である。彼らは、今年の9月23日から27日までスケルトン・クルー (フリス&コラ) とポーランド・ツアを行った。

ポーランドの音楽状況は彼らのようなミュージシャンにとって決して良いものとは言えない。オフィシャル・レーベルはプログレッシヴ・ミュージックや実験的音楽を全く無視しており、自主製作カセット (一般的の店では入手できない) 以外の方法で自らの作品を発表することは不可能である。ルポルタージュも音楽を専業とし独自の演奏活動を展開することを望んでいるが、それは社会主義国において極めて困難なことである。

(大意)